

もっさん通信

MOSSAN TIMES 2008・10

第7号

発行 ● 山本 悟史 / 高松市木太町2735-3



高松市議会議員
山本さとし

こんにちは。“もっさん”こと、山本さとしです。早いもので県庁を退職してから2年、そして初めて一般質問をしてから1年が過ぎました。そこで一つの区切りとして、私が政治家を目指すきっかけとなった小川淳也衆議院議員と、高松・日本の未来について話し合いました。これからも力を合わせて活動していきます！ 引き続きの応援、よろしくをお願いします！！

高松、そして日本の未来！

はじめに

山本 今日は小川さんにいろいろと話をお聞きします。よろしくお願いします。

小川 よろしく申し上げます。あらたまって言われると、少し照れますね。(笑)

政治家

山本 小川さんと知り合ったのは、5年前に立候補表明して間もないころでしたね。最初は、30そこそこで官僚を辞めて民主党から出馬する奴ってどんな生意気な若造かと思ってたんですが、実際に会うと全然違ってビックリしました。(笑)

小川 そうだったんですか？(笑)

山本 まあ、それは置いといて。(笑) まず、小川さんが政治家を志した理由を教えてください。

ださい。

小川 私は父親に「政治家は信用できないが、官僚は優秀だ。」と言われて育ってきました。私自身高松出身ですから、少しでも地方の役に立ちたいという思いで自治省(現総務省)に入りました。ところがいざ官僚の世界に身を置くと、国益より省益が優先される…。そんな現実と直面していくわけです。自分なりに悩んだ挙句、最後は政治がしっかりするしかない、信頼される政治家がいなければならない、そういう結論に至りました。

山本 それが、世襲でも何でもない政治家小川淳也の原点なんですね。だからこそ、そんな小川さんに影響を受けて、私も役所を辞めたわけですが。これも何かの縁と思って、あきらめます。(笑)



小川 淳也
1971年 高松市生まれ(今年37歳)
高松高校・東京大学・総務省出身
2005年 衆議院選挙初当選(比例)
現在、民主党香川県連及び1区代表
<http://www.junbo.org/>



山本さとし
1968年 観音寺市生まれ(今年40歳)
観音寺一校・立命館大学・香川県庁出身
2007年 高松市議会選挙初当選(7位)
現在、民主党県連幹事及び1区幹事長
<http://mossan2.com/>

国政

山本 そして、2回目の選挙で衆議院議員に初当選したわけですが…。どうですか、率直に言って、国会という世界は？ そして、この3年間は？

小川 そうですね、一言で言うと”容易じゃない世界”とでも言えますか…。古い慣習もあるし、古い感覚の先輩方もいる。そういう世界で、初心を通すというのは簡単じゃないと感じています。

山本 それは、市議会で私自身が感じていることと共通してますね。

小川 でも、容易じゃないけどきちんと初心を通していける、やっていける。一方で、そういう実感を確認した3年間でもあります。

国と地方

山本 ところで、小川さんは沖縄県庁や春日井市役所での勤務経験もありますが、国と地方の関係はどう考えていますか？

小川 山本さんも県庁にいたのでわかると思いますが、国が決めたことを着実に実行していくのが今までの地方だったと思います。

山本 それは残念ながらそのとおりですね。国が法律を作り、県がそれに基づき条例を定め、市町村に実行させる。

小川 民主党が政権を取った場合は、財源移譲を含めて大幅な権限移譲を行います。そうなると地方は自分たちの知恵でやっていかなければならないし、本当の意味での地方政府になるんだと考えています。

山本 地方が試される。ある意味、厳しい時代になりますね。

小川 でも、そうすることで国全体の底上げができるし、そうしないといけないと考えています。

高松の未来

山本 最後に、小川さんは故郷高松の未来をどう考えているか、教えてください。

小川 高松は地の利を活かして、四国の玄関口として発展してきた街だと思うんです。企業の支店であり、国の出先であり、と。しかし、これからは独自の付加価値を創っていく必要があるのではないのでしょうか。例えば、四国の中で最も先進的な施策を実施するような都市であるとか。

山本 なるほど。そのためには、何が一番必要だと思いますか？

小川 最後は、人材…ということに尽きるんでしょうね。

山本 そう、人材！ たいていの問題はここに行き着きますよね。やっぱり魅力ある街は、魅力のある人が住んでいる街、そういうことだと思います。私も微力ながら、この高松という街を魅力あふれる街にするためにがんばります。これからもよろしく願います！

小川 力を合わせて高松を、そして日本を変えていきましょう！



▲地方、国政、ともにがんばります！

小川淳也国政報告会のご案内

10/12 (日) 13:00 新塩谷コミュニティセンター
15:30 木太南コミュニティセンター

10/16 (木) 19:00 築地コミュニティセンター

10/19 (日) 15:00 屋島コミュニティセンター

10/23 (木) 19:00 太田中央コミュニティセンター

※国会日程等により、急遽予定を変更させていただく場合がございます。
どうかお許しください。

■お問い合わせ先 小川淳也事務所 087-815-1187



1. 環境問題について

山本 市所有のごみ収集関係車両に、BDF※を使用していく考えはありますか。

※BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)…家庭でてんぷらや揚げ物をした後の廃食油を精製した軽油代替燃料のことです。これを使用することにより排気ガス中のCO2の大幅な削減が可能です。

市当局 近年、BDFよりも環境負荷の少ない燃料として天然ガスが実用化され、エコスタンドも整備されたことから、天然ガス自動車や低公害型ディーゼル車のごみ収集車両を計画的に導入していく予定です。

2. 行政改革について

山本 年度末契約件数の現状に対する市当局の認識と、年度末に過度に業務を集中しないための取り組みについて教えてください。

市当局 予算の効率的な執行と経済投資効果を図る観点から、早期発注に努めることとしているほか、当初予算の成立後、直ちに公共工事等に係る年間発注計画を調整し、これにより年間を通じた計画的な工事発注に努めています。

活動報告

2008年4月～9月

4月 April 勉強会



小川さんと東京で開催されたシンポジウムに参加しました。5月には直島での公務員風土改革交流会、7月は再び上京して議会改革の勉強会(写真)など、県内外を問わず積極的に自己研鑽を重ねています。

議会改革の勉強会(写真)など、県内外を問わず積極的に自己研鑽を重ねています。

5月 May 会派視察

栃木県宇都宮市・東京都三鷹市・同八王子市がそれぞれ取り組んでいるLRT・小中一貫教育・フリースクールの施策を視察してきました。やはり、他自治体の施策は勉強になります。

6月 June 街頭行動



民主党地方議員団で後期高齢者医療制度廃止を訴えました。これからも力を合わせて、生活重視の政治に取り組んでいきます。

8月 August 委員会視察



総務消防常任委員会で、地域コミュニティーへの先進的な取り組みを行っている愛知県高浜市と三重県名張市に視察に行きました。高松に合うもの合わないもの、会派を超えて議論が進みます。

7月 July 1区定期大会

引き続き、民主党香川県連1区の幹事長に就くことになりました。代表の小川さんを盛り立てるべく精一杯努力していきます。

9月 September 9月定例会

例年どおり補正予算の審議と併せて、特に今年は深刻な湯水問題や市民病院の移転問題などにも注目が集まりました。

2007年度政務調査費

(新人議員 1年目は、5月からの11カ月分110万円が支給上限。)

費目	金額	備考
研究研修費	305,072円	交通費・会費・宿泊費・ その他経費(燃料代等)
資料作成費	24,337円	事務用品購入費 (デジタルカメラ等)
資料購入費	129,710円	図書購入費 (新聞代・専門誌代)
広報費	493,390円	広報紙等印刷費・ 広報紙等送料
広聴費	147,491円	その他経費 (プロジェクター・ スクリーン)
計	1,100,000円	

山本さとしは政務調査費を含む
政治活動をすべて公開します!!

プロフィールなど……………



1968年 観音寺市生まれ
1992年 立命館大学法学部卒業
香川県庁入庁
2006年 民主党県連公募合格
香川県庁退職
2007年 市議会選挙初当選
民主党県連第1区幹事長

愛称 … (やま)もっさん
家族 … 妻と二人、借家暮らし
趣味 … B級グルメ・読書等

日々の活動や政治資金については、
HPでも報告しています。
ぜひ、ご覧ください。

もっさん.com
<http://mossan2.com>



好評更新中!

～編集後記に代えて～

現在、月9と呼ばれるドラマ枠で、『CHANGE』というドラマが放送され、人気を集めています。木村拓哉さん演じる主人公が、代議士の父親の後がまに担ぎ出され、さらには人寄せパンダとして総理に祭り上げられたものの、逆に与党内の政治家や官僚の思惑を超え、庶民の感覚で周りの人々たちを、そして政治家をチェンジ、つまりは変えていくというストーリーです。少なからず政治の現実を知っている人からすると、しょせんはドラマだからという一言で片づけられるのかもしれませんが、こういったドラマの中にも、普通の人々が今の政治に何を求めているかを気づかせてくれることも多いのではないのでしょうか。私たち政治家は何のために選ばれたのか。市役所の職員はなぜ公の仕事についているのか。そして、市民は社会とどうかかわるべきなのかを常に問われるような市議会であり、市役所であり、そして高松市でありたい。そう自戒の念を込め、私の質問を終わります。御清聴ありがとうございました。



(6月定例会山本一般質問より)

連絡先 (あなたのご意見をお聞かせください!!)

民主党香川県総支部連合会 〒761-8072 高松市三条町315-3

Tel : 087-868-0028 Fax : 087-868-0109

Email : kenren@dpj-kagawa.join-us.jp

高松市議会 (市民フォーラム21) 〒760-8571 高松市番町1-8-15

Tel : 087-839-2826 Fax : 087-839-2847

Email : shiminforamu21@md.pikara.ne.jp

後援会 (自宅)

〒760-0080

高松市木太町2735-3

Tel : 087-833-3650

Fax : 087-833-3650

Email : mossan1968@ybb.ne.jp